

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第1回社会教育委員会議
開 催 年 月 日	令和7年8月7日（木）
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後2時00分 から 午後2時45分 まで
開 催 場 所	岩木庁舎 2階 会議室3
議 長 等 の 氏 名	委員長 井上 裕太
出 席 者	井上 裕太 委員長 ・ 宮崎 研也 委員 ・ 鈴木 恵子 委員 原子 睦子 委員 ・ 越村 康英 委員 ・ 大類 靖 委員
欠 席 者	鳥谷部 眞規子 副委員長 ・ 神田 昌彦 委員 溝江 葉子 委員 ・ 須藤 涼香 委員
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	生涯学習課長 中川 元伸 中央公民館長 高森 紀之 博物館館長補佐 川村 快之 高岡の森弘前藩歴史館長 熊谷 義昭 文化財課長 石岡 博之 生涯学習課長補佐 山内 浩弥 図書館・郷土文学館運営推進室長 高橋 貢 生涯学習課企画係長 竹原 正澄 生涯学習課企画係主事 菅 顕太 生涯学習課企画係主事 石岡 珠希
会 議 の 議 題	①次期弘前市総合計画策定のための意見聴取について ②ひろさき教育創生市民会議委員の任期満了に伴う次期委員について
会 議 結 果	①「会議の議題」にもとづき説明し、各委員からの質問や意見を伺った。 ②井上裕太委員長を選任することで承認
会 議 資 料 の 名 称	・ 会議次第

	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前市総合計画後期基本計画（関係部分抜粋） ・弘前市総合計画後期実施計画（関係部分抜粋） ・聴取した意見の活用具体例
<p>会 議 内 容</p> <p>（ 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等 ）</p>	<p>○組織会（委員長・副委員長選出）</p> <p>委員長 井上 裕太</p> <p>副委員長 鳥谷部 眞規子</p> <p>○第1回社会教育委員会議</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 定足数確認 4 会議録署名者指名 5 案件 6 閉会 <p>~~~~~</p> <p>会議 (議長)</p> <p>次第3 定足数確認</p> <p>次第4 会議録署名者指名 署名委員は原子委員と越村委員を指名</p> <p>~~~~~</p> <p>次第5 案件①次期弘前市総合計画策定のための意見聴取について</p> <p>〈事務局説明〉 (事務局)</p> <p>ご意見、ご提案等いただきたいポイントとしては、政策の方向性に生涯学習推進体制の充実とありますが、①目指す姿について現在2点挙げております。この点について、更に加える点や変更点がないか。次に②現状と課題について、現在の状況を踏まえ、新たに考えられる課題がないか、変更すべき点がないか、また記載内容が妥当なのか、次期基本計画の4年間を見越して違う見方もあるのかなどについて、ご検討いただければと思います。</p>

【意見・提案等】

(委員)

政策課題指標の生涯学習施設を利用したことがある市民の割合について、基準値が2022年度が31.5%で目標2026年度36%になってるんですけども、直近の数値はわかるんでしょうか。

(事務局)

令和6年度の数値は持ってきておりませんでした。

(委員)

36%ってのは達成できそうな数値なのでしょうか。

(事務局)

なかなか難しい数値ではありますが、努力目標的に高めに設定させていただいた数値であります。

(委員)

このアンケートの、31.5%なんですけど。
どのくらいの方に回答いただいたとか別の資料はあるんですか。

(事務局)

市民意識アンケート調査は毎年ランダムで、令和4年度の資料で、対象者2,580名のうち、2,057名から回答を得ているというようなデータを今日持ってきております。

(委員)

対象者というのはどういう人。

(事務局)

対象者はランダムで、市内在住の16歳以上の市民の方であります。住民基本台帳から無作為に抽出して回答してもらっております。

(委員)

私から特に、意見ではないんですが、東日本震災以降に、とか、コロナっていう部分もあるんですけど、もう東日本震災から大分経ってるので、こういう文章とかコロナの文章は必要じゃないのかなっていうような気はします。

(議長)

ご意見ありがとうございます。今ご質問いただいた件で、まず、目標値の36%になったことに関して、努力目標の数値として36%というふうに理解しております。

それから、ご指摘ありましたように、コロナについても、今、大分収まっていますので、そういったところは表現を変えていいのかなと思いますし、東日本大震災からもう14年となっておりますので、もちろんこの絆づくりとか、その中でも広がりというのは重要な要素ではありますので、表現としては残してもいいのかなとは思いますが、東日本大震災という記述はもう少し検討の余地はあるかなと感じております。ありがとうございました。

(委員)

いくつか発言をさせていただきます。まず、些末な指摘からで恐縮なんですけど、資料1の51ページの目指す姿のところに「公民館など社会教育施設では」という表現があるんですが、その下の政策課題指標のところでは「生涯学習施設」という言葉が使われていて、計画の中で用語法の統一を図っていったほうがいいかなというふうにまず思います。この社会教育と生涯学習という言葉はどう捉えるのかってなかなか難しい部分ではあるかと思うんですが、今の国の中教審の議論なんかも見ていると生涯学習よりも社会教育っていう言葉がかなり前面にまた打ち出されてきているような状況もありますので、私としては社会教育っていうところをもう少し打ち出していくっていうのがいいんじゃないかなというふうに思っています。ご承知の通り弘前市においても少子高齢化や人口減少というものがどんどん進んでいく中で、持続可能な地域を作っていくっていうことが大事で、その中でやっぱり社会教育、公民館等がどう力を発揮できるのかというところが問われているのかなというふうに思いますので。あくまで私の個人的な思いですけども、政策の方向性というところも大胆に、例えば、持続可能な地域づくりに向けた社会教育の充実とか、何かそういったことを打ち出していく段階にきているのかなというふうにも思っております。

その下②のところ、現行の計画では多様な学習機会の提供と地域コミュニティの活性化、で、もう1つが社会教育施設と体制の充実という、この2つが柱として打ち出されているわけですが、この2点については、私は引き続き大事な柱になってくるんじゃないかなと思っております。ただ、多様な学習機会と言ったときにもうちょっと具体的に、例えば住民の暮らしであるとか、地域の課題と向き合う学習機会の充実とか、多様な、と言ったときに、なかなか社会教育の場、公民館なんかは足を運ばない人、例えば、障がいを持っている方であるとか、外国籍の住民の方である

とか、あとは県外からの移住者であるとか、そういったコミュニティーに入っていくことが難しい状況の人たちに向けた学習機会の提供とか、何かそういった具体的な方向性みたいなものも打ち出していくということが大事になるのかなというふうに思っています。

柱の２番目に上がっている社会教育施設と体制の充実。これも先ほど申し上げた通り引き続き大事になる部分だなというふうに思うんですが、この施設の充実、機能の強化というものを図っていくときに、やっぱり職員の皆様、そこがとても重要な要素になってくるのかなあというふうに思っています。例えば社会教育士っていうものをきちんと公民館に置いていくとか、そういったことを打ち出しながら、機能強化を目指していくということが大事になるのではないかなと思っています。社会教育主事講習等に計画的に職員の皆さんを派遣し、そして計画的に市内の公民館等の社会教育施設に専門性を持った職員の皆様の配置していくという、そういったことなんかが進められると変わってくる部分も大きいんじゃないかなと思っています。

冒頭に申し上げた通り、地域づくりに向けたっていうところがやっぱりとても重要になってくるかなというふうに思っています。地域づくりって何も社会教育の場だけで行われているわけでは当然なくて、行政を挙げて取り組まれていることだと思っています。当然弘前市の方でも、今後様々な地域づくりに向けた取り組みが本格化していくんじゃないかなと。例えば、厚生労働省系の取り組みだと重層的支援体制整備事業というものが今、動いてきているというふうに認識しております。

また内閣府の方では、岩木とか相馬の方で今動いていると思いますが小さな拠点の取り組みなんかも進んできているかと思っています。総務省系では、地域運営組織っていうものを立ち上げていく、みたいな動きもあるというふうに思っています。こういった様々な地域づくりに向けた全庁的な動きと、社会教育や公民館っていうものがきちんと噛み合っていくといえますか、そこに一定の存在感を示していくっていうことがとても重要になってくるんじゃないかなあというふうに思っています。計画に書いてしまうと足かせになる部分もあろうかと思いますが、そういった視点も盛り込みながら、地域の計画を作っていくということが実効性のあるものになっていくんじゃないかなと思っています。私からは以上になります。

(議長)

まさにこの時代に即したやり方といえますか、本当に弘前市内様々な方、外国籍の方ですとか、いろんなハンデを抱えた方とか、多様な、様々な方がいらっしゃるのです、それぞれのニーズに即した学習機会を提供するということですか。あとは、それを支える側の社会教育施設の職員の

皆様の質の向上に資するような、そういった取り組み、或いは幅広い団体と連携、横の繋がりをもう少し持たせた柔軟な対応ということができれば、よりよい形になろうかと思しますので、そういったことも踏まえて、ご検討いただければと思います。

(委員)

本当に前の方々がおっしゃったようなことを、細かくはないんですが、今実際私たちが感じてることが、防災を意識した教育っていうのをもうちょっと地域で行えたらいいのかなっていうのがありまして。公民館さんとか、いろいろな教育の施設で、社会教育施設が主体となって、防災における小さい子からお年寄りまでの連携した活動っていうか、簡単に言うと避難訓練みたいな、地域を巻き込んだ防災訓練をしていけたらいいなという期待を持っているので、そういうことも検討に入れていただければいいなと思っていました。以上です。

(議長)

専門的な立場からのご指摘・ご意見ありがとうございます。

(委員)

これを見ると、まず、利用したことがある市民の割合ということで、思った以上に少ないなあという気がして見ておりました。2,000人の回答の中で、30%ってことは大体、3人に1人は利用したことあるけど、3人に2人は利用していないんだなっていう認識で見えていました。

でも、52ページの方を見ると、公民館の利用者の中の満足度は、ほぼ8割9割いっていて、公民館で活動してる人は十分満足して帰ってるのかなあという気がします。それは各公民館とか学区まなびいとかそういうところで、地域の実態や課題を把握して、地域のニーズに応じた講座なり講習会を実施していることが、満足度に繋がってるのかな、参加した人たちは十分満足して帰っているのだから、その利用者をもうちょっとこう増やすような、何かいい手だてがないかなって今考えてる途中でした。

多分、利用すればそれなりに皆さん満足して帰っていくっていうことですので、公民館、図書館、博物館とか、もう少し利用する機会が増える、何か手だてがあればいいのになあと思って見させていただいてました。以上です。

(議長)

ご意見ありがとうございます。私もこのまず利用したことのある市民の割合36%という目標値、それから公民館の満足度が93%という、それぞれ目標がありますけれども、どちらかというと特に前者の方の、利用し

たことがある市民の割合増やすということのほうがより重要なのかなというふうに思いました。もちろん、93%というものを達成できれば、それに越したことはありませんけれども、過去の推移などを見ますと大体今90%を維持しているという数値ですので、まずはその裾野を広げるというところから広げていくと。そういったことで、少しでも何らかの接点をこの社会教育施設と、もっと市民の割合を増やすということから始めていくと良いのかなというふうに思いますので、そういった裾野を広げる取り組みについて、ぜひご検討いただければと思っています。

(委員)

個人的なことでお話させてもらっていいでしょうか。私は特に「地域の」っていうことでは五代獅子舞の方で、今、少年組が一生懸命やってくれて、この前の夏祭りでも、8人になったので男子チームと女子チームを作って、賀田の夏祭りでは女の子たちのチームが踊ってくれて、紙漉沢の山麓獅子連合会の共演会では男の子のチームが踊ってくれて。実はそれが、五代の子が1人もいないという状況で、でも、他の地域から、ご両親が車で連れて来てくれて夜の稽古に参加してくれてるというとてもありがたい状況なんですけど、それがなぜできたかっていうと、去年と一昨年、五代公民館がこんなに大きいのに、あまり使われてないよね、獅子舞が中心だよねっていうことを当時の地域おこし協力隊の方が、ここをもっと活性化したいっていうことで熱を入れてくださって、じゃあ五代獅子舞とタイアップしようということで「ステップ44」っていうのを作って、2年ぐらい企画してやったら、新聞でも取り上げてもらったりして、遠くから来てくださったんです。

でも、たった1家族だけずつなんですけども2人。その次の年は1人参加してくれて、だんだんにちょっとずつ増えていってその子たちが思いが強くてつなげてくれてるんですけど、だから私としては五代獅子舞なんだけれども、500年の歴史を途絶えさせたくないという思いで関わらせてもらってるんですけど。五代地区じゃなくて、もっと広い意味で、伝統を次の時代につけていう、すごい底力になってるなと思って、私はとても今ありがたくて、去年は藤崎で、一昨年は十和田でこども民俗芸能大会があって、今年は下北であるので、また呼んでいただいているので子ども達すごく力入ってるんです。だからこういう場が地域の、五代の集会所だけなんですけど、他のいろんな集会所でも、人が自分の村だけじゃなくて、そういう集まる機会というものがあれば、すごくいいなと思うのは子どもたちが獅子の稽古した後何してるかっていうと、走り回って遊んでるんですね。ただ学区が違うから、初めて会った子なんです。一緒に獅子舞をやっていることで気心知れて、前は「えー」って言ってきてたのが、稽古に、おじいちゃんが連れて来てた子が、もう最近「早く行こう」って言

う。遊ぶ楽しさみたいなもの、交流できる場が与えられたということで、とても少人数なんですけど、やっぱりいい傾向をいただいたなあと思ってます。

それと、私はヨガの指導をさせていただいてるんですけど、この中央公民館の大和室で、もう32、3年になるんですけど。なかなか人数も増えないですが、できるだけ歩いてでも来れる距離のところ、日常的に体を動かさないとかっていう人にも、やっていただけたらなあって、それをどういうふうにしていったらいいのかなあと思ってのんですけど。運動できる人はいいんですけど、できない方の体と心の健康のお手伝いに各公民館を活かした形で、やればよいとは思ってます。

(議長)

ありがとうございます。現状と課題のところ、地域コミュニティの活性化とありますけれども、今、人口も減少しているという社会においてはこの地域と地域コミュニティというものは、より広域的にとらえる必要があるのかなと思いますので、そういった広い視点でのこの地域コミュニティの活性化、或いは地域間交流とかそういったところ、踏まえていただければというふうに思います。

それでは私からいくつか述べさせていただきます。政策についてですけども、今回後期基本計画の中で、分野別政策というのがありまして、今回議論しているのが①学びの2生涯学習推進体制の充実というところだと思います。ただ、この社会教育と言うのは、いろんな幅広い分野に関連してお話できたり、事業展開できるということも1つの特色だと思いますので、それ以外の分野別政策の項目、福祉ですとか、様々な産業、子育てとか広くそういった事業と関連した、何か取り組みを行えば、より相乗効果が生まれるのかなというふうに思いました。実際にこの中央公民館などでも講座などで、例えば子育て関連のものだったりとか、或いは年配の方向けのお話とか、本当に幅広いテーマで、講座などで、実際に行われていますので、そういったことも、明文化しても良いのかなというふうに思いました。

それから1点確認させていただきたいんですけども、52ページの方で公民館等の参加者の満足度というのがありますが、他の社会教育施設、例えば図書館ですとか博物館とかそういったところでは、同様のこの満足度のアンケートなどは行われているのでしょうか。

(事務局)

図書館は指定管理となっておりまして、大体1月ぐらいに毎年指定管理者の方で、満足度のアンケートを来館者に対して行っていると聞いております。概ね好評を得ているというふうに認識をしております。以上

です。

(事務局)

博物館は直営施設でございますけども、イベント等を行った際は、アンケートをとって、良好な満足度を得られてる数値として見えてきますけど、普段からはアンケートとかそういうのをちょっとやっておりますので、目に見えた数値っていうのは出てこないんですけども、それでも最近、ちょっと話ずれるかもしれないんですけど、8のつく日は博物館の日ということで、学芸員のミニ解説とかそういう新たな事業、取り組みを行っております。最近本当にリピーターとか、そうやって訪れてくれる方も大変最近多く、顕著にこう見えてきてまして、そういう意味では数値では見えませんが、非常に満足度を得られているのかなあと、我々職員としては思っております。今後、我々の博物館協議会もですね、そういったテーマで議論になることもありますので、今後こう何か目に見える形で、見えるものができるかちょっと考えていきたいと思っております。以上です。

(事務局)

高岡の森弘前藩歴史館は、企画展のアンケートについては、受付のところにアンケート用紙を置きまして、ご自由に感じたままを書いていただくというような体制をとっておりまして、パーセントはとってはないんですけども、概ね良好な形でいただいております。あと年2回ほど、歴史館講座というのを開いております、それは皆さんにアンケートをお願いして出していただいておりますけども、それも概ね良好という感触を得ておりますので、今のこの結果に近いのかなというふうに感じております。以上です。

(議長)

現状と課題の2つ目で社会教育施設の体制と充実というふうにございますので、公民館のような同様のグラフなど、数値化できないにしても、公民館以外の施設についての現状と課題についても同様に記述があれば、それぞれの施設の状況などがとらえられるのかなというふうに思いますのでご検討いただければと思います。ありがとうございました。追加でご意見等ございますでしょうか。ございませんようでしたら次の案件に入らせていただきたいと思います。

~~~~~

案件②ひろさき教育創生市民会議員の任期満了に伴う次期委員の選任について

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | <p>〈事務局より、ひろさき教育創生市民会議の委員の任期満了に伴う次期委員の選出について、社会教育委員の中から代表の方1名を選出することを説明〉</p> <p>〈選任結果：井上裕太委員長を選任することで承認〉</p> <p>~~~~~</p> <p><b>（生涯学習課長補佐）</b></p> <p>それでは以上で本日の会議の案件はすべて終了ということになりましたので、会議を閉じさせていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。これをもちまして令和7年度第1回弘前社会教育委員会会議を閉会いたします。大変お疲れ様でございました。</p> <p>閉会</p> |
| その他必要事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議は公開</li> <li>・傍聴者なし</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                  |